



2013年8月5日

ダイハツ、インドネシアでエンジン生産体制を強化

ダイハツ工業(株) (以下 ダイハツ) は、海外事業の重要拠点であるインドネシアの子会社アストラ・ダイハツ・モーター社 (以下 ADM) で、乗用車用エンジンの生産ラインを増設する。

新生産ラインの生産能力は 20 万基/年。稼働時期は 2015 年夏を予定している。

エンジンのコスト競争力ならびに更なる品質向上のため、エンジン生産を既存の生産ラインから順次、新生産ラインへ移行する。

全体の生産能力については現状からの変更はない。

今回の最新鋭のエンジン生産ライン増設により、一層のインドネシア事業の強化を図る。

【カラワンエンジン工場概要】

所在地：西ジャワ州カラワン

操業開始：2006年11月

生産品目：エンジン、鋳造部品

用地面積：約 17.7 万㎡

建屋面積：約 8.5 万㎡ (新生産ライン稼働後)

生産能力：53 万基

<ご参考：ADM概要>

会社名	アストラ・ダイハツ・モーター社 PT Astra Daihatsu Motor
所在地	ジャカルタ特別州
設立	1992年1月
社長	スディルマン・ママン・ルスディ Sudirman Maman Rusdi
出資比率	ダイハツ工業 61.75%、アストラインターナショナル 31.87% 豊田通商 6.38%
従業員数	約 11,000 名 (2013年6月末現在)

以上